
サウザントラース

甘草

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サウザントラース

【Zコード】

Z6335Z

【作者名】

甘草

【あらすじ】

サウザントラース。千の種族が集まるその世界では力を持つ種族が支配権を持つ。特に強大な力を持つ天使と悪魔は長い間戦いを続けていた。

第1羽（前書き）

主人公は『』で表示しています。

第1羽

カツ…カツ…

光の入らない路地裏に一人の少女が歩く。

「そこのお嬢さん。」

『はい?』

少女はいかにも胡散臭そうな占い師に声をかけられる。
「占い…どうですか?」

その言葉を聞き少女は一ヤツと笑う。

『へえ…。じゃあ、占つてもらいましょうかねえ?』

そして少女は占い師の前の水晶のおかれた机の前に立つ。
『何を占つてもらえるの?』

占い師は水晶を手に取る。

すると、水晶の中に不思議な模様がヴォン…と浮かぶ。
「さうですねえ…。」

そういつた占い師はニヤリと笑う。

「あなたの死についてなんてどうですか?」

『死? なんて不吉な…。』

なんと少女の後ろには無数のナイフが浮いていた。

「さよならあ…!』

ドシコツ…!

無数のナイフは地に落ち、占い師の体はバラバラに切り裂かれていた。

「な…こ…。」

占い師の体は地に落ち、砂となつた。

『あーあ。せつかく占つてもらおうと思ったのになあ。』

そういった少女の手には大剣が握られていた。

第1羽（後書き）

同時に3つ連載をやってしまった…。

うん。まあ頑張ります。

今回の主人公は男っぽい女です。

今までの中で一番ファンタジーっぽい話ですね。
不定期連載にならないように頑張ります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6335n/>

サウザントラース

2010年10月9日15時09分発行